

[第1号議案]

「防災塾・だるま」平成29年度（2017年度）活動報告

2017年5月25日開催の第9回総会で承認された、2017年度「活動計画」に基づき、「役員会」及びテーマ別に委員会などを組織し活動を展開。

I 活動報告

2017年度活動計画（主催・共催活動：10項目、参加・見学等：4項目）に基づき活動を展開。尚、下記活動計画については委員会を立上げ計画を推進。

実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座

- 防災・減災に関する意見提案・・・パブリックコメントなどへの対応
- 地域防災への協力講座（協力事業）・・・県西地区など
- 学校防災への協力講座（協力事業）
- 地域防災への協力活動（協力事業）・・・二宮町防災ワークショップなど
- だるま防災教育資料の編集・管理・・・3BWG活動

(Bousai Big Bang Working Group)

会員向け学習会の開催

防災活動団体との交流

[主催・共催活動]

1. 防災塾・だるま「定例会」及び「防災まちづくり談義の会」開催・運営

・開催日及び参加者

月 日	だるま定例会	参加者	談義の会	参加者	備考（役員会等）
4月20日	2017年 4月	21名	第142回	26名	4/4 第91回役員会
5月25日	2017年 5月 ・第9回総会	29名	第143回	42名	5/9 第92回役員会
6月29日	2017年 6月	20名	第144回	31名	6/6 第93回役員会
7月27日	2017年 7月	17名	第145回	28名	7/11 第94回役員会
8月24日	(夏休み)	—	第146回 (特別企画) J-DAG 体験会	40名	8/24 第95回役員会
9月28日	2017年 9月	21名	第147回	41名	9/5 第96回役員会
10月20日	2017年 10月	17名	第148回	55名	10/3 第97回役員会
11月17日	2017年 11月	13名	第149回	23名	11/7 第98回役員会
12月21日	2017年 12月	20名	第150回	30名	12/12 第99回役員会 合同懇親会(40名参加)
1月25日	2018年 1月	19名	第151回	29名	1/9 第100回役員会
2月22日	2018年 2月	16名	第152回	22名	2/6 第101回役員会
3月29日	2018年 3月	17名	第153回	29名	3/13 第102回役員会
年間参加者 計	昨年度 257名	210名	昨年度 323名	396名	

*各回の詳細は だるまHPを参照

参加者数：会員以外の参加者含む

1) 「防災塾・だるま」の活性化（定例会・談義の会参加者減少への対応など）

① 広報活動

活動メンバー：池田、田中（喜）、中島、増田

- ・ 「防災まちづくり談義の会」開催チラシなどの大学内掲示、掲示板借用の了解が得られ、9月談義よりチラシ掲示開始。事前に大学への「掲示物申請」、「物品借用願」が必要。
- ・ 「鎌倉萌」（発行：鎌倉市教育委員会 月刊生涯学習情報誌）へ談義の会開催案内の掲載を依頼。9月号より掲載。
- ・ 談義チラシの配布先（神奈川区を主体に各区内施設センターなど）を検討。2018年度も継続して協議・検討する。

② アンケート調査

- ・ 談義の会で参加者にアンケート「意見・感想」や「聞きたいテーマ」を記入してもらい、活動への反映を検討する。

2) 10周年記念誌（増刷）への対応

- ・ 今年度増刷（予算 40,000 円）を計画したが在庫に余裕があり増刷を見送る。
在庫（3月31日現在） 10周年記念誌：90冊 資料編：56冊

3) だるま設備の整備

- ・ 今年度PC一式（本体、ソフトなど）を取得、資料・議事録・HP等の作成に活用。
- ・ 2018年度は防災センター設備として資料整理・保管棚や会議用椅子取得の予算化を計画。

4) 談義の会での資料代徴収についてのルール変更（11月談義より実施）

- ・ チラシ印刷費、講師謝礼費など経費補充のため、談義の会での資料代徴収のルールを変更し、11月より実施する。変更点は以下のとおり。

① 談義チラシに資料代(100円)を明記

② 対象に学生を含む（以前は、対象から学生を外していた。）

5) 終身会員制度・会費前納制度の検討（一括納入による納入忘れ・振り込み効率化）

- ・ 2018年度も継続検討する。

6) 「防災塾・だるま」名刺の見直し

- ・ 統一名刺は、会員が所定の「統一名刺印刷申込書」を提出し、だるま経由で印刷業者に印刷手配を行った。（片面カラー印刷）

2. 「実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座」の開催（主催：神奈川大学）

- ・ 4月4日、第1回「講座運営委員会」開催。

運営委員会メンバー：稲垣（リーダー）、池田、伊東、小原、片山、紅林、佐藤、高松、田中（晃）、田中（榮）、田中（喜）、早川、増田（佳）、山口（章）、山田（美）
（計16名）

- ・ 全7回の講座運営委員会を開催しカリキュラム・講師選定・受講生募集などの詳細を決定。
講座運営委員会開催日：2月16日（予備検討会）、3月7日（キックオフ）、4月4日（第

1回)、6月6日(第2回)、7月11日(第3回)、8月24日(第4回)、9月5日(第5回)

- ・ 10月12日～11月16日 全6回(3.5時間/回)で講座開催。 講座受講者 48名
- ・ 開催場所：神奈川大学 KUポर्टスクエア
- ・ 養成講座リーダー：稲垣 博正(だるま理事)、 総合司会：山田 美智子(だるま理事)

<講座のメインテーマ> “ 防災の最新知見と地域防災実践事例を学ぶ ”

第1回 テーマ：「“都市火災”の怖しさを含む首都圏大地震への備え」

講 師：加藤 孝明氏 東京大学生産技術研究所 准教授

グループワーク：受講者の自己紹介と受講動機

第2回 テーマ：「地震・防災の最新知見と地域防災への提言」

講 師：荏本 孝久氏 神奈川大学工学部教授 「防災塾・だるま」塾長

テーマ：「神奈川県最新防災施策を聞く」

講 師：杉原 英和氏 神奈川県安全防災局 安全防災部長

第3回 テーマ：「クロスロードゲームを通じて避難所運営に特化した「気づく」を目的に学ぶ」

講 師：白田 克維氏 元・南区六ッ川地区連合町内会 防災部長 会員

中村 俊光氏 (株)ナカツ防災企画 社長 会員

テーマ：「神戸市立鷹取中学校での避難所運営の生の声を聞く」

講 師：近藤 豊宣氏 元・神戸市立鷹取中学校 校長

近藤豊宣氏の講演についてはDVDを作成。(緑区で実施した講演(同内容)を収録。)

第4回 テーマ：「港南区プロジェクトRの誕生背景、現状、今後を語る」

講 師：榊原 秀和氏 横浜市港南区福祉保健センター 高齢障害支援課長

テーマ：「金沢パークタウンの民生主導の自主防災活動事例報告」

講 師：佐橋 暁子氏 横浜市金沢区金沢パークタウン自治会 民生・児童委員

第5回 テーマ：「集合住宅防災の課題～平塚市におけるアンケート調査等に基づいて」

講 師：森 慎一氏 元平塚市博物館学芸員、学術博士

テーマ：「女性は防災のスペシャリスト」 誰でも出来る家具の転倒防止

講 師：庄子 さち子氏、庄子 健治氏 渡辺 秀夫氏 戸塚区ハウスメンテナンス防災クラブ

第6回 テーマ：「新百合ヶ丘自治会自主防災組織活動概要」

講 師：樋口 誠氏 川崎市麻生区新百合ヶ丘自治会 自主防災組織本部長

グループワーク：「防災意識」、「共助」、「災害弱者対応」等について討議

*詳細は「防災塾・だるま」ホームページ参照。

講座終了後、稲垣氏から、リーダーの負担が大きいため次年度のリーダーは早く決定するのがよい旨の提案がなされた。

3. 「防災塾・だるま」ホームページの維持・管理

だるま事業活動の進展に伴い、ホームページによる発信情報の質的・量的な充実化に努めています。そのためには、会員各位の情報提供が不可欠であり、積極的な協力を期待しています。

そして、ホームページ専用パソコンを新規に購入し、その維持管理の共有化を目指します。

今年度発信した主な情報は次の通りです。

- ・ だるま総会及び月次会議などの記録を掲載：
 - だるま総会資料、役員会（会員専用ページ）、だるま定例会、防災まちづくり談義の会（会員名簿、会計報告は会員専用ページに掲載）
- ・ だるま活動の概要：PPT 資料（2017 年 11 月）
- ・ 地域貢献事業の掲載：
 - 地域防災への協力講座（南区六ッ川連合自治会）
 - 諸団体の防災活動への協力（茨城県建築士会 青年女性委員会）
- ・ 活動参加の報告を掲載：
 - だるま取材協力のNHK-TV 番組「NHK スペシャル」レポートを掲載（2017 年 5 月）
 - 「神戸1. 17 慰霊のつどい」及び「稲村の火」参加報告（2018 年 1 月）
 - 「防災まちづくり談義の会」講演資料を掲載
- ・ だるま提言の意見書を掲載：1 件（2017 年 4 月）・・・参照：パブリックコメント
- ・ 「J-DAG（防災行動ゲーム）」の閲覧件数・・・3,814 件（2018 年 3 月 31 日現在）
- ・ 「実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座」の掲載：
 - 2017 年「防災の最新知見と地域防災実践事例を学ぶ」（全 6 回）
- ・ だるまが提供を受けた防災資料（講演資料及び防災関係資料）の掲載：
 - 講演資料 7 件、「考える防災 V-8」など防災関係資料 4 件
- ・ 「毎月の情報」の掲載：近郊で開催される、各月の防災関係イベント&講座等を紹介
- ・ 「防災まちづくりコーディネーター養成講座 2017 年運営委員会」資料を掲載（会員専用）

ホームページ閲覧件数（累計）	22,028 件（2018 年 3 月 31 日現在）
ホームページ閲覧件数（2017 年度年間）	4,394 件

4. だるま防災教育資料の編集・管理・講師育成

1) 3BGW (Bousai Big Bang Working Group) 活動

- ・ 「防災めぐり」の子供バージョン作成への取り組み（継続中）、「防災塾・だるま」から情報発信する場合の著作権の問題、そしてJ-DAGの改善について検討した。
- 開催日：4月20日、5月25日、6月29日、7月27日、8月24日、9月28日、10月20日、11月17日、12月21日、1月25日、2月22日、3月29日（全12回）

2) 講演DVD（避難所の運営実態）の作成

- ・ 10月26日、緑区で行った近藤豊宣氏の「災害時の避難所の開設と運営奮闘記」*を、講演DVDとして、石塚道義氏の協力を得て作成。（当DVDは阪神淡路大震災時に神戸市立鷹取中学校校長として、教職員や子ども達の力を借りながら乗り切った記録で、全国で650回も講演したエキスが詰まった後世に伝える作品。）なお、近藤氏には、神戸訪問時に当DVDを差し上げている。
- *近藤豊宣氏には、「2017年度実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座」で講演（同内容）をしていただいている。「2018年度実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座」でも、講演DVDの利用を計画。

5. J-DAG (P.5 注 参照) などの普及・レベルアップ

- ・平成29年8月24日、「防災塾・だるま」談義の会でのJ-DAG実施に向けて、紹介ちらしを作成し、7月定例会等にて配布した。
- ・8月30日、消防防災科学センターの飯塚智規氏に、J-DAG改良につながる指導をうけた。
- ・8月24日談義の会でのJ-DAG、11月27日栄区役所主催のJ-DAGで、2回以上J-DAGを体験した防災塾・だるま会員の、佐々木、中村誠の両氏に対して、J-DAG資料一式と研修修了証を付与した。これまでの付与者は25人。

(注) J-DAG (Just Disaster Action Game) とは

災害発生直後は最も減災活動が必要です。しかし、その時点の公助は期待できず、地域住民による共助が決め手です。設定した具体的な被害への対処活動を、リアルタイムで、実戦的に、判断と行動をしながら体験学習する「発災直後の行動ゲーム」です。

(詳細は、紹介ちらしのほか、新聞掲載記事など「防災塾・だるま」ホームページ参照。)

6. テーマ別に委員会などを組織して取り組む活動

1) 防災・減災に関する意見提案 (パブリックコメントなどへの対応)

会員から提案いただいた内容を役員会で検討し、その結果を集約し提言を行った。

- ①「神奈川県地域防災計画(風水害等災害対策計画)修正素案」(2017年4月提出)

2) 地域防災への協力講座(協力事業)

- ① 六ッ川地区連合自治会「チーム防災六ッ川」への協力

平成30年2月4日 横浜市南区六ッ川地区連合自治会(チーム防災六ッ川)の依頼による防災「クロスロードゲーム」を、会員の白田氏、中村(俊)氏、成松氏の講師で実施した。(詳細は「防災塾だるま」ホームページ参照)

- ② 横浜市緑区(みどりーむ防災・減災講演会)への協力

平成30年3月24日 横浜市緑区役所の依頼による防災「クロスロードゲーム」を白田氏・中村(俊)氏の講師で実施(参加者50名)。講師が楽しくやるのが肝要として、論議の様子を聴き、意見を聞いたので、非常に盛り上がった。人によって設問に対するとらえ方が違い、回答(YES/NO)が分かれ、いろいろな理由が出て面白い会になる。(詳細は「防災塾だるま」ホームページ掲載予定)

- ③ 建築士会女性委員会(公開講座等)への協力

- ・平成29年12月2日 茨城県建築士会の依頼によるHUGのワークショップを実施。今回で神奈川県、千葉県、茨城県の建築士会関係の防災ワークショップは7回目になる。(詳細は「防災塾だるま」ホームページ参照)
- ・「地域防災について考えようIN 平塚」が平成30年1月13日(土)建築士会女性委員会の公開講座としてひらつか市民活動センターで開かれ、当会からは「被災地における視点」を会員の高松氏が講演。「地域の防災活動」(平塚市)や「ワークショップで平塚市庁舎の折り紙建築」の講演もあり、避難所における女性の視点の重要性、災害弱者への思いやり、コミュニケーションの大切さ、臭気や犯罪等意外性への驚き、訓練の大切さ等を参加者全員で共有した。

3) 学校防災への協力講座（協力事業）

① 横浜市立港中学校

30年度のカレンダーを作成し、12月に配布した。

② 南足柄市立南足柄中学校

例年7月上旬にJ-DAGを行っていたが、平成29年度は2月1日に実施した。

今回はJ-DAGでなく、発災直後のレクチュア後、グループに分かれて討論を行った。

③ 横浜市立北綱島小学校

30年度のカレンダーを作成し、12月に配布した。

4) 地域防災への協力活動（協力事業）

① 横浜市男女共同参画センター（常光 朋子氏 だるま会員）への協力

「ヨコハマわたしの防災カノート（だるま 編集協力）」をテキストとし活用されている。

② 大井町防災関連イベント

- ・平成29年11月、ボランティアフェスティバルに参加、町民に防災意識の向上を呼びかけた。
- ・平成30年2月、町立湘光中学校防災授業の実施サポート（4回目・毎年実施）。卒業を控えた3年生を対象に関係組織と共同で実施した。町民として防災・減災戦力として期待。

③ 二宮町防災ワークショップ

内 容：平成30年1月14日 講演・クロスロードゲーム（無作為抽出された町民1,500名中の希望者30名を対象にした防災ワークショップ。ファシリテーター等として参加。）

活動メンバー：荏本塾長（講師）、池田、田中（晃）、田中（栄）、田中（喜）、山田（富）、増田

④ 松田町、城山自治会への協力

内 容：8月20日、城山自治会館でJ-DAGを実施。

活動メンバー：田中（伸）、片山

⑤ 松田町、城山自治会への協力

内 容：10月28日、城山自治会館で防災講演を行った。

活動メンバー：田中（伸）、片山

⑥ 栄区役所主催の「第1回さかえ・つながるフォーラム」への協力

内 容：11月27日、栄区内全自治会に呼びかけJ-DAGを行った。ゲーム参加者45人、見学者31人、関係者を含めて約90人の参加であった。

活動メンバー：高松、田中（喜）、中村（誠）、鈴木（徳）、片山

5) オール神奈川企業防災連絡会への参加・支援

神奈川県内の企業が協力して地震防災活動の協力体制をつくるためにネットワークとして立ち上げた「オール神奈川企業防災連絡会」の設立会が、11月22日に開催され、活動がスタートした。今後、「かながわ人と智をつなぐ防災・減災ネットワーク」と協力して活動を広げることになった。

6) 産官学民連携による神奈川地域防災フォーラム（仮）の企画・立案

「かながわ人と智をつなぐ防災・減災ネットワーク」研究集会として、第1回の集会を11月23日に開催した。参加者は約80名であった。第2回は3月21日に開催した。参加者は約80名であった。今後も継続して開催する予定であり、その過程で「産官学民連携による神奈川地域防災フォーラム（仮）」の企画を検討する。

7) 会員向け学習会等の開催

① J-DAG 学習会

J-DAGの学習を会員だけでなく、談義の会として一般募集もして8月24日に実施した。消防防災科学センターの飯塚智規氏の参加を得て、後日詳細なセッションを頂いた。（だるま会員参加者22名）

② 加藤孝明先生との意見交換会

平成30年1月9日、山田（美）氏の司会の下、会員（20名）が加藤先生を囲み、それぞれが活動の中で抱える課題について自由な意見交換を行った。

加藤先生からは、リスクを負うイメージを共有する、地区防災計画では行政のつながりを強くする、人口増対応では帰宅困難者への対応、人がつながるコミュニティづくりの大切さ、意識改革で真の改革を、とまとめていただき、今後の活動に役立てる視点が共有された。

8) 防災活動団体との交流

① 神奈川県大井町との交流

大井町防災まちづくりの会 28年度総会及びふれあい広場に、荏本塾長ほか、だるま会員5名の参加で、盛況かつ有効な開催が出来た。

7. 「神奈川大学防災センター」への参加協力

- ・（神奈川大学大規模災害対策研究プロジェクト）連続防災講演会の企画・開催
10月21日～12月2日に開催された連続防災講演会（テーマ；「防災の最新知見と地域防災実績事例を学ぶ」、全6回）の企画等に協力した。
- ・（神奈川大学大規模災害対策研究プロジェクト）連続防災講演会の報告書作成
- ・神奈川大学の防災・減災対策（BCP及び危機管理計画）の立案
- ・2016年に発生した「熊本地震」に関する講演会の記録を2017年3月に出版した。
- ・2011年から毎年春期・秋期に継続して開催している連続防災講演会の記録集の編集を行って出版する活動を始めた。第1回目の出版として2011～2012年の講演会の記録・報告書を3月27日に出版した。

8. 「かながわ人と智をつなぐ防災・減災ネットワーク」への参加協力

「かながわ人と智をつなぐ防災・減災ネットワーク」研究集会として、第1回の集会を11月23日に開催した。参加者は約80名であった。第2回は3月21日に開催した。参加者は約80名であった。第1回、第2回の研究集会ともに「防災塾・だるま」は参加し、運営にも協力した。

9. 「神奈川県地域防災活動支援ネットワーク“絆”強化事業」の実施

活動なし。

[参加・見学など]

1. 神戸から学ぶ（「神戸市1・17追悼のつどい2017」への参加）

参加者：相原夫妻、池田、上原、植山、荻本、片山、早川、山田（美）（9名）

現地の協力：青田良介先生（兵庫県立大学）ほか

訪問先：①神戸市役所防災展示室

②人と防災未来センター

③兵庫県立大学大学院

④1・17慰霊式典

⑤阪神高速(株)震災資料保管庫（阪神高速・阪神高速道路技術センター）

⑥稲村の火の館（津波防災教育センター、濱口梧陵記念館） ほか

その他：2月22日（木）「談義の会」にて参加者報告会を実施

談義の会の資料PPT作成協力：田中（喜）

2. 防災ギャザリングへの参加 「防災ギャザリング2017 from かながわ」

実行委員会への参加：森（委員長）、植山、小原、高松、田中（喜）、宮川、山口（昭）

4月22日（土）：講演

減災への取り組み日について ～地域の災害環境から考える～

講師：神奈川大学工学部教授 荻本孝久氏

参加者：植山、高松、田中（喜）、小原、庄司（健）、庄司（さ）

5月14日（土）フェア開催

グループ展示・実演（於 横浜市民防災センター及び沢渡中央公園）

～自分・家族・地域を守るための減災の「技」を体験しよう！～

3. 3.11 被災地から学ぶ（東日本大震災）

1) 講演会など被災地の状況を学ぶ

①「市民活動フェア2018～つなげよう、ひろげよう、みんなの輪を未来へ！」

日時：平成30年3月10日（土）・11日（日）

場所：神奈川県民センター

内容：被災地支援物品の販売・活動紹介（出展の一部）

②「福祉防災講演」（「市民活動フェア2018」参加企画）

日時：平成30年3月10日（土）

語り部：浦部利広氏（岩手県山田町）、

発災時、小学生だった若者たちでつくる語り部グループTTT（TSUNAGU Teenager Tourguide of NOBIRU）（宮城県東松島市ほか）

内容：発災時の山田町の様子のほか、当時小学生だった被災地の高校生のこれまでの思いなどを伺う。

4. その他

1) 北綱島小学校（平成 29 年度 横浜市 ESD コンソーシアム ESD 推進校）公開授業（「きたつな安全防災プラン」をもとにした授業実践）参加・見学

テーマ：「安全防災教育 IN 北綱島」～維持可能な安全防災教育とは～

日時：平成 29 年 12 月 1 日（金）13 時 15 分～16 時 45 分

対象：横浜市立学校教職員 および ESD に関心のある関係者

部会協議：綱島東小学校長・東部学校教育事務所指導主事、南部学校教育事務所主任指導主事、教育委員会始動企画課主任指導主事

全体会対談：講師：甲南女子大教授 村川雅弘先生、東京都市大学教授 佐藤直久先生

参加者：池田、田中（喜）、玉井、片山、佐々木、高松、早川、山田（美）、増田、稲垣、中村、鈴木、渡辺（秀）（14 名敬称略）

昨年度、荏本孝久先生（神奈川大学教授）が北綱島小学校公開授業（平成 28 年度）に講師として協力した経緯から、今年度も公開授業（平成 29 年度）に参加。なお、第 140 回談義の会（平成 29 年 2 月 24 日）では、講師として北綱島小学校長にお話していただいた。

2) 根岸製油所見学

2月21日、磯子区根岸にある㈱「JXTGエネルギー株式会社」(ENEOS)を見学した。参加者は、池田、小原、片山、田中（喜）、玉井、中島、中村（誠）、早川、山田（美）、渡辺。（10 名敬称略）

以上